

平成 29 年 度
第 61 回 簿 記 検 定 試 験
1 級 (原価計算)

問 題 用 紙

(制限時間 1 時間30分)

(平成29年12月10日施行)

— 受験上の諸注意 —

- ・ 答案はすべて答案用紙に記入すること。
- ・ すべての答案用紙に受験番号を記入すること。
- ・ 赤字で記入すべきところは赤インク、赤鉛筆を用いること。
- ・ その他答案の作成にあたっては、教科書に基づき日頃
学校で指導を受けている記帳の方法によって、正確・
迅速・整然と記帳すること。

佐賀県高等学校教育研究会商業部会主催

1 下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次の中からもっとも適当なものを使用すること。

当座預金	売掛金	製品	A組製品
B組製品	作業くず	素材	売上
雑益	売上原価	従業員賞与手当	保険料
製造	第1工程製造	第1工程半製品	第2工程製造
製造間接費	組間接費	材料消費価格差異	賃率差異
本社	工場		

(1) 個別原価計算を採用している伊万里製作所では、A製品(製造指図書#1) B製品(製造指図書#2)を製造している過程で作業くずが発生し、これを ¥29,000 と評価した。なお、この作業くずは製造指図書別に発生を区別することができない。

(2) 鹿島工業株式会社の素材に関する資料は次のとおりであった。よって、予定価格による消費高と実際価格による消費高との差額を材料消費価格差異勘定に振り替えた。ただし、素材の予定価格は @¥1,260 であり、実際消費単価の計算は総平均法によっている。

前月繰越高	300個	@¥1,250	¥ 375,000
当月仕入高	1,500個	@¥1,280	¥ 1,920,000
当月消費数量	1,560個		

(3) 単純総合原価計算を採用している多久製作所は、月末に工場の従業員に対する賞与の月割額を計上した。ただし、半年分の賞与の支払予定額は ¥2,562,000 である。

(4) 会計期末にあたり、賃率差異勘定の残高を売上原価勘定に振り替えた。なお、賃率差異勘定の前月繰越高は ¥7,000 (借方) であり、当月の賃金の実際消費高は予定消費高より少なく、この差額の ¥3,000 は賃率差異勘定に振り替えられている。

(5) 組別総合原価計算を採用している小城製作所における1月分の製品の販売に関する資料は、次のとおりであった。よって、売上高および売上原価を計上した。

	A組	B組
売上高(掛け)	¥ 6,400,000	¥ 3,900,000
製造原価	¥ 3,584,000	¥ 2,340,000

(6) 武雄工業株式会社は、月末にあたり、工程別総合原価計算表を作成し、各工程の完成品原価を次のとおり計上した。ただし、当社は第1工程の完成品はすべて第2工程製造勘定に振り替えられている。

第1工程	¥ 3,380,000	第2工程(最終工程)	¥ 4,225,000
------	-------------	------------	-------------

(7) 工場会計が独立している嬉野製作所の本社は、建物の保険料 ¥460,000 を小切手を振り出して支払った。ただし、このうち ¥322,000 は工場の建物に対するものである。(本社の仕訳)

2 鳥栖製作所は、等級別総合原価計算を採用し、1級製品と2級製品を製造している。なお、同社では、単純総合原価計算によって総合原価を計算した後、等級別製品の原価を計算している。下記の資料によって、単純総合原価計算表および等級別総合原価計算表を完成しなさい。

- ただし、
- i 賃金の消費高の計算には、作業時間/時間につき ¥720 の予定賃率を用いている。
 - ii 素材は製造着手のときにすべて投入され、加工費は製造の進行に応じて消費されるものとする。
 - iii 月末仕掛品原価の計算は先入先出法による。
 - iv 等価係数は、各製品の重量(g)による。

資料

- a. 月初仕掛品 200個(加工進捗度 50%)
¥124,000 (うち、素材費 ¥76,000 加工費 ¥48,000)
- b. 当月製造費用
- | | | | | | |
|------|-------|--------------|----------|---------|----------|
| ①材料費 | 素材 | ¥943,000 | 工場消耗品 | ¥80,000 | |
| ②労務費 | 賃金 | 当月作業時間 800時間 | | | |
| | 給料 | ¥229,000 | 健康保険料 | ¥35,000 | |
| ③経費 | 減価償却費 | 年間見積額 | ¥696,000 | | |
| | 電力料 | 当月支払高 | ¥120,000 | 当月測定高 | ¥111,000 |
| | 雑費 | 当月支払高 | ¥3,000 | | |
- c. 月末仕掛品 500個(加工進捗度 40%)
- d. 完成品数量 2,000個
- e. 各製品の重量と等級別完成品数量

	1個あたりの重量	完成品数量
1級製品	100g	700個
2級製品	60g	1,300個

- 3 (1) 次の各文の()の中に、下記の語群のなかから、もっとも適当なものを選び、その番号を記入しなさい。
- a. 製造原価に販売費と一般管理費を加えたものを(ア)といい、このなかには、支払利息などの金融上の費用や火災・風水害による損失などの(イ)は含まれない。
 - b. 素材や買入部品など重要な材料の消費数量の計算には、(ウ)が適している。この方法によると、材料の帳簿有高と実際有高を照合して、保管中に生じた棚卸減耗を知ることができる。
 - c. 部門別個別原価計算では、(エ)の各費目を特定の部門において発生したことが明らかな部門個別費と、二つ以上の部門に共通して発生した部門共通費に分類する。

【語群】

- | | | | |
|----------|----------|---------|----------|
| 1. 総原価 | 2. 棚卸計算法 | 3. 売上原価 | 4. 非原価項目 |
| 5. 継続記録法 | 6. 製造直接費 | 7. 減損費 | 8. 製造間接費 |

- 3 (2) 単純総合原価計算を採用している佐賀製作所の下記の資料によって、月末仕掛品原価と完成品単価を計算しなさい。
- ただし、i 素材は製造着手のときにすべて投入され、加工費は製造の進行に応じて消費されるものとする。
- ii 月末仕掛品原価の計算は平均法による。
- iii 正常減損は工程の終点で発生している。

資 料

①生産データ	② 月初仕掛品原価 ￥161,000
月初仕掛品 700kg (加工進捗度40%)	内訳 (素材費 ￥110,000 加工費 ￥51,000)
当月投入 4,300kg	
合計 5,000kg	③ 当月製造費用
月末仕掛品 800kg (加工進捗度50%)	(素材費 ￥690,000 加工費 ￥777,000)
正常減損 200kg	
完成品 4,000kg	

- 4 個別原価計算を採用している唐津製作所の下記の資料によって、次の各問いに答えなさい。

- (1) 12月中の取引の仕訳を示しなさい。
- (2) 消費賃金勘定・製造勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。なお、勘定記入は日付・相手科目・金額を示すこと。
- (3) 部門費振替表を直接配賦法によって完成しなさい。
- (4) A製品（製造指図書#1）の原価計算表を完成しなさい。
- ただし、i 前月繰越高は、次のとおりである。
- | | | | | |
|-------|-----------------------------------|---|---------|-----------|
| 素 材 | 400kg | @ | ￥ 1,620 | ￥ 648,000 |
| 工場消耗品 | 500個 | @ | ￥ 70 | ￥ 35,000 |
| 仕 掛 品 | (製造指図書#1) ￥2,039,000 (原価計算表に記入済み) | | | |
- ii 素材の消費高の計算は先入先出法、工場消耗品の消費数量の計算は棚卸計算法によっている。
- iii 賃金の消費高の計算には、作業時間/時間につき ￥1,200 の予定賃率を用いている。
- iv 製造間接費は部門別計算をおこない、各製品に予定配賦している。なお、第1製造部門は、直接作業時間を基準とし、第2製造部門は、機械運転時間を基準としている。

	第1製造部門	第2製造部門
年間製造間接費予定額	￥ 7,640,000	￥ 6,840,000
年間予定直接作業時間	19,100時間	—
年間予定機械運転時間	—	18,000時間

取 引

12月 5日 素材および工場消耗品を次のとおり買い入れ、代金のうち ￥1,000,000 は約束手形を振り出して支払い、残額は掛けとした。

素 材	1,200kg	@	￥1,630	￥1,956,000
工場消耗品	2,400個	@	￥ 70	￥ 168,000

11日 B製品（製造指図書#2）の注文を受け、素材900kgを消費して製造を開始した。

21日 賃金を次のとおり小切手を振り出して支払った。

賃金総額	￥3,480,000
うち、控除額	所得税 ￥268,000 健康保険料 ￥135,000

- 31日 ① 工場消耗品の月末棚卸数量は600個であった。よって、消費高を計上した。
- ② 当月の賃金予定消費高を次の作業時間によって計上した。ただし、消費賃金勘定を設けている。
- | | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|------|-------|
| 製造指図書#1 | 1,820時間 | 製造指図書#2 | 1,050時間 | 間接作業 | 250時間 |
|---------|---------|---------|---------|------|-------|
- ③ 健康保険料の事業主負担額 ￥135,000 を計上した。
- ④ 当月の製造経費消費高を次のとおり計上した。
- | | | | |
|-------|----------|-------|---------|
| 電 力 料 | ￥241,000 | 保 険 料 | ￥62,000 |
| 減価償却費 | ￥315,000 | | |
- ⑤ 当月の第1製造部門の直接作業時間および第2製造部門の機械運転時間は次のとおりであった。よって、製造部門費を予定配賦した。

	第1製造部門	第2製造部門
	直接作業時間	機械運転時間
製造指図書#1	860時間	1,000時間
製造指図書#2	740時間	600時間

- ⑥ 製造間接費を次のとおり各部門に配分した。
- | | | | |
|--------|-----------|--------|-----------|
| 第1製造部門 | ￥ 549,000 | 第2製造部門 | ￥ 437,000 |
| 動力部門 | ￥ 156,000 | 工場事務部門 | ￥ 72,000 |
- ⑦ 補助部門費を次の配賦基準によって各製造部門に配賦した。

	配 賦 基 準	第1製造部門	第2製造部門
動力部門費	kW数×運転時間数	1.2kW×200時間	6kW×1,600時間
工場事務部門費	従 業 員 数	12人	3人

- ⑧ A製品（製造指図書#1）100個が完成した。
- ⑨ 当月の賃金実際消費高 ￥3,726,000 を計上した。
- ⑩ 賃金の予定消費高と実際消費高との差額を、賃率差異勘定に振り替えた。
- ⑪ 第1製造部門費および第2製造部門費の配賦差異を、製造部門費配賦差異勘定に振り替えた。

平成29年度

第61回簿記検定試験

1級(原価計算)

答案用紙

(制限時間 1時間30分)

(平成29年12月10日施行)

佐賀県高等学校教育研究会商業部会主催

1

	借方	貸方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		

受験番号	①	②	③	④	総得点

2

単純総合原価計算表			
平成○年/月分			
摘要	素材費	加工費	合計
材料費			
労務費	—		
経費	—		
計			
月初仕掛品原価			
計			
月末仕掛品原価			
完成品原価			1,850,000

等級別総合原価計算表						
平成○年/月分						
等級別製品	重量	等価係数	完成品数量	積数	等級別製造原価	製品単価
1級製品	100g		個			¥
2級製品	60g		個			¥
					1,850,000	

3

(1)	ア		イ		ウ		エ	
(2)	月末仕掛品原価				完成品単価			
	¥				@¥			

受験番号	②	③

(1)

受験番号	④(1)

— 4 —

(2)

(3)

直接配賦法

部 門 費	配賦基準	金 額	製 造 部 門		補 助 部 門	
			第1部門	第2部門	動力部門	工場事務部門
部 門 費 合 計		1,214,000	549,000	437,000	156,000	72,000
動 力 部 門 費	kW数×運転時間数					
工場事務部門費	従 業 員 数					
配 賦 額 合 計						
製造部門費合計						

(4)

原 価 計 算 表

直接材料費	直接勞務費	製 造 間 接 費				集 計	
		部門	時間	配 賦 率	金 額	摘 要	金 額
1,537,000	390,000	第1	280	400	112,000	直接材料費	
		第1				直接勞務費	
		第2				製造間接費	
						製造原価	
						完成品数量	100個
						製品単価	¥

4(2)(3)(4)

4 (2)

消費賃金

12/31 賃 金	3,726,000	12/31 諸 口	3,744,000
※ 〃 賃率差異	18,000		
	3,744,000		3,744,000

製 造

12/1 前月繰越	2,039,000	12/31 製 品	4,947,000
※ 11 素 材	1,463,000	31 次月繰越	3,247,000
31 消費賃金	3,444,000		
〃 諸 口	1,248,000		
	8,194,000		8,194,000

(3)

部 門 費 振 替 表

直接配賦法

平成〇年/2月分

部 門 費	配 賦 基 準	金 額	製 造 部 門		補 助 部 門	
			第1部門	第2部門	動力部門	工場事務部門
部 門 費 合 計		1,214,000	549,000	437,000	156,000	72,000
動 力 部 門 費	kW数×運転時間数	156,000	31,200	124,800		
工 場 事 務 部 門 費	従 業 員 数	72,000	57,600	14,400		
配 賦 額 合 計		228,000	88,800	139,200	※	
製造部門費合計		1,214,000	637,800	576,200		

(4)

製造指図書# /

原 価 計 算 表

直接材料費	直接労務費	製 造 間 接 費				集 計	
		部門	時間	配 賦 率	金 額	摘 要	金 額
1,537,000	390,000	第1	280	400	112,000	直接材料費	1,537,000
	2,184,000	第1	860	400	344,000	直接労務費	2,574,000
	2,574,000	第2	1,000	380	380,000	製造間接費	836,000
					836,000	製造原価	4,947,000
						完成品数量	100個
						製品単価	49,470 ※

④(2)(3)(4)
※ 4点×4=16点

平成 29 年 度

第 61 回 簿 記 検 定 試 験

1 級 (原価計算)

採 点 基 準

(平成29年12月10日施行)

1

	借 方	貸 方
(1)	作 業 く ず 29,000	製 造 間 接 費 29,000
(2)	材 料 消 費 価 格 差 異 23,400	素 材 23,400
(3)	製 造 427,000	従 業 員 賞 与 手 当 427,000
(4)	売 上 原 価 4,000	賃 率 差 異 4,000
(5)	売 掛 金 10,300,000 売 上 原 価 5,924,000	売 上 10,300,000 A 組 製 品 3,584,000 B 組 製 品 2,340,000
(6)	第 2 工 程 製 造 品 3,380,000 4,225,000	第 1 工 程 製 造 3,380,000 第 2 工 程 製 造 4,225,000
(7)	保 險 料 場 138,000 工 322,000	当 座 預 金 460,000

①	②	③	④	総得点
4点×7=28点	※3点×5=15点 ◎1点×1=1点	(1)2点×4=8点 (2)4点×2=8点	※4点×10=40点	100

2

単純総合原価計算表

平成〇年/月分

摘要	素材費	加工費	合計
材料費	943,000	80,000	1,023,000
労務費	—	※ 840,000	840,000
経費	—	※ 172,000	172,000
計	943,000	1,092,000	2,035,000
月初仕掛品原価	76,000	48,000	124,000
計	1,019,000	1,140,000	2,159,000
月末仕掛品原価	※ 205,000	104,000	309,000
完成品原価	814,000	※ 1,036,000	1,850,000

等級別総合原価計算表

平成〇年/月分

等級別製品	重量	等価係数	完成品数量	積数	等級別製造原価	製品単価
1級製品	100g	5	700個	3,500	※ 875,000	¥ 1,250
2級製品	60g	3	1,300個	3,900	975,000	¥ 750
				7,400	1,850,000	

3

(1)	ア	1	イ	4	ウ	5	エ	8
		月末仕掛品原価			完成品単価			
(2)		¥ 200,000			@ ¥ 357			

②	③
※3点×5=15点 ◎1点×1=1点	(1)2点×4=8点 (2)4点×2=8点

4

(1)

		借方	貸方		
1/2月5日	素 材	1,956,000	支 払 手 形	1,000,000	
	工 場 消 耗 品	168,000	買 掛 金	1,124,000	
11日	製 造	1,463,000	素 材	1,463,000	
21日	賃 金	3,480,000	所 得 税 預 り 金	268,000	
			健康保険料預り金	135,000	
			当 座 預 金	3,077,000	
31日	①	製 造 間 接 費	161,000	工 場 消 耗 品	161,000
	②	製 造	3,444,000	消 費 賃 金	3,744,000
		製 造 間 接 費	300,000		
	③	製 造 間 接 費	135,000	健 康 保 險 料	135,000
	④	製 造 間 接 費	618,000	電 力 料	241,000
				保 險 料	62,000
				減 価 償 却 費	315,000
	⑤	製 造	1,248,000	第1製造部門費	640,000
				第2製造部門費	608,000
	⑥	第1製造部門費	549,000	製 造 間 接 費	1,214,000
		第2製造部門費	437,000		
動力部門費		156,000			
工場事務部門費		72,000			
⑦	第1製造部門費	88,800	動 力 部 門 費	156,000	
	第2製造部門費	139,200	工 場 事 務 部 門 費	72,000	
⑧	製 品	4,947,000	製 造	4,947,000	
⑨	消 費 賃 金	3,726,000	賃 金	3,726,000	
⑩	消 費 賃 金	18,000	賃 率 差 異	18,000	
⑪	第1製造部門費	2,200	製造部門費配賦差異	2,200	
	第2製造部門費	31,800	製造部門費配賦差異	31,800	

④(1)

※4点×6=24点